

「お・も・て・な・し」の心きらめく商店街

(九条新道駅前商店街 (愛称：キララ九条商店街))

訪問日：平成27年11月12日

担当AD：永田 賢次

若い世代の商店街離れ

九条新道駅前商店街 (愛称：キララ九条商店街) は、大阪市営地下鉄・阪神電車九条駅の西側すぐ、約600mにわたる商店街で、明るいアーケードのもとにはファッション、印章、時計などの物販や飲食店など39店が軒を連ねています。

九条は大阪梅田まで約10分、難波までは約6分と交通の便も良いところで、周辺には住宅街が広がり、親の代から九条に住み続けている地元愛の強い住民の方も多いい中、九条新道駅前商店街は古くから地域住民に親しまれてきました。

そんな九条新道駅前商店街ですが、平成20年に阪神電車なんば線が九条駅に乗り入れ、なんばまで阪神1本で約6分と交通アクセスが向上したことが商店街には反作用となり、若い世代が都心部へと流れ、来街客層の高齢化が進み始めました。若い世代の商店街場慣れから来街者数、売上が減少し、空き店舗が出始めます。後継者難により店を閉める店舗も現れ、商店街の将来に不安を感じ始めた店主たちは、商店街に賑わいを取り戻すために何をすべきか、澤田理事長、池田副理事長を中心に検討を開始します。

新コンセプト「おもてなし」で再スタート！

子どもから大人までを満足させる商店街に



九条新道駅前商店街では、大阪市から派遣された商店街の専門家とともに、商店街の「役割」と「長所」を見直すことから検討を始めました。

その結果、商店街のイメージを刷新するべく、新たなコンセプトテーマを「おもてなし」と設定。

“お・も・て・な・し”は、2020年東京五輪招致のプレゼンテーションにて、滝川クリステルさんが日本古来のサービス精神を表明し世界から喝采

を浴びたフレーズです。このインパクトあるフレーズは、九条新道駅前商店街が目指す、「お客様にもっともっと便利に・楽しく・快適にお買い物いただける商店街」に一致する

ものでした。そこで、この“お・も・て・な・し”の精神をとことんアピールすることで、商店街を活性化させようとしたのです。

その「おもてなし」の精神を具現化するため、星をモチーフにした商店街のマスコット「キララちゃん」にちなみ、「星の数だけ“お・も・て・な・し”商店街」と書かれた旗を、商店街の両脇、各店舗に掲げ賑わいを醸し出すこととしました。各店には「ご挨拶でおもてなし」「祝儀袋名前書きます」など手書きのおもてなし宣言が掲げられています。このおもてなし宣言、イベント時には「本日コーヒー〇〇円！」などお得情報も加わるので見落とせません。おもてなしという広く知れ渡ったテーマで、日常の来街者のみならず、イベント参加者にも個店の魅力を巧みにPRしているのです。



また、子供からお年寄りまで幅広い層のお客様に楽しんでもらえる商店街づくりに向けて、季節ごとにイベントを開催することとなりました。新春のお餅つきから夏の夜店、秋のハロウィーン、クリスマス、歳末売り出しまで全てのイベントに「おもてなし」と銘打ち、イベントに集う子供たちや親世代、お年寄りまで皆が楽しめるよう心を配ることで商店街のファンを増やし、潜在的な商店街の顧客の裾野を広げる試みです。

季節ごとのイベントは毎回新しい工夫がこらされています。例えば地元の高校生と連携した取り組み「高校生がおもてなし『クラシックタウン～昭和編～』」では、高校生が昭和をコンセプトに商店街を盛り上げていこう！とスタンプラリー等を企画運営。また、秋のハロウィーンイベントでは、思い思いの仮装に身を包んだ地元の高校生が商店街を歩いたり、お店の方を手伝って子供たちにお菓子を配ったりと、気がつけば商店街に子供たちやその親世代が行き交い来街者の裾野が広がっています。

もちろん、来街者の中心である高齢者層へのおもてなしも忘れてはいません。商店街の所々にベンチを置いて、荷物を置いて一休みし、快適にお買い物していただける環境を整備。良いものを少しずつ買いたい高齢者層のニーズに応じて食品などの個売り、少量パックを充実させるほか、毎月のセールにも工夫をこらし、商店街に足を運んでもらう努力を続けています。

おもてなし効果でにぎわい復活！新規出店により空き店舗率が改善

このように、「おもてなし」の心で子どもから大人まで満足できる商店街へと取り組みを重ねた結果、賑わいを取り戻しつつある商店街へ出店を希望する事業者が現れ、空き店舗には生鮮食料品店など新しい店舗が出店しました。生鮮食料品店はかねてから九条新道駅



前商店街に求められていた業種だとのことで、威勢の良いお店の方々のかけ声と新鮮な魚や野菜を求める人たちで賑わい、商店街に新しい活気が生まれています。

こうした日々の積み重ねが実を結び、商店街の空き店舗率が7%改善するという成果を生み出しました。

た。

「おもてなし」の心がもたらす好循環

おもてなし事業の実施にあたっては、商店街活性化の専門家である「商店街よろず相談アドバイザー」永田賢次氏の支援を受け、外部専門家の知見を積極的に取り込んでいきました。

また、地元の高校と積極的に連携し、若い世代が商店街をステージに活躍する場を提供しつつ、商店街に賑わいを生み出しています。これら外部との好循環は、澤田理事長をはじめとする商店街メンバーの、柔軟かつ積極的に外部の知見を取り入れようとする努力の積み重ねでもたらされたものだと感じられました。

澤田理事長は、「2020年の東京オリンピックまで『おもてなし事業』を続けて、商店街の活性化につなげたい」と語っておられました。商店街を取り巻く環境は依然厳しいものがありますが、商店街メンバーの絶え間ない努力の積み重ねにより、2020年には更なる「おもてなし」の星がきらめき、商店街活性化への道を照らしてくれることでしょう。

商店街データ

商店街名：九条新道駅前商店街

所在地：大阪府大阪市西区九条2丁目9-7

担当者名：理事長 澤田 整良

連絡先：06-6583-3867